病児保育室

病気の子も預けられ安心

キッズケア 青い鳥「仕事を休まずに済み助かる」

病気の子どもを一時的に預って、保育士と看護師が世話をする病児保育室「キッズケア・青い鳥」（東村5）は、昨年4月にオープンして以来、「念願だった。助かっている」と利用者からも好評です。

同施設は、「熱が出た！でも仕事を休めない」、「祖父母に何日も預けられない」、「私も病気で具合が悪い」など様々な事情で、保護者が家庭で子どもの病気の看病をできない時に預けられます。

保護者の代わりに、看護師が病状に応じた処置を行い、保育士が子どもと一緒に遊びながら一日を過ごします。階下には、あおい小児科があるため、子どもの急な体調の変化にも、対応できる環境が整っています。

施設を利用できるのは今治市在住で、共働きなど働いている家庭の子どもだけでなく、集団生活をしていない家庭保育の子どもも対象です。生後6ヶ月から小学校6年生まで。熱や嘔吐、インフルエンザなどの病気で、通院で治療を行える子どもが対象です。

施設を利用するためには、今治市への事前登録が必要です。事前登録の受付は、あおい小児科、通園している市内の保育所・幼稚園でも行っています。

実際に利用している二児の母、菅野由紀子さん(38)は「書類の手続きもすぐ終わります。何より子どもが病気になると仕事を抜け、心苦しかったが、今は預ける場所ができ、自分にもゆとりができた」と話しています。

また山本真理さん(25)は「スタッフの方が皆優しく、全員で子どもを看てくれるので、助かっています」と笑顔です。

保育時間は月曜から金曜の8時から18時。延長保育はなし。土日・祝祭日・年末年始は休みです。利用料金は預けた時間に関係なく、子ども一人につき2000円です。生活保護世帯は無料。

同施設を運営管理している、あおい小児科の青井努院長(62)は「キッズケア・青い鳥の存在が、安心して子育てができる親御さんの一助となれば。お気軽にご相談ください」と話しています。

同施設の利用方法など詳細は、同院のホームページを参照ください。

HP http://aoi-kids.jp

【問】☎527077（キッズケア青い鳥）

▲発熱した湊くんを預けに来たママの山本真理さん

▲「子どもが病気の時、助かっています」と話す菅野由紀子さん（左）と絢太くん（中央）、滉人くん

働くママと、子どもを支援

あおい小児科でも事前登録可

今治市消防本部

現場を想定し、訓練

救急技術研修会を開催

▲緊迫した雰囲気の中、訓練を行う救急隊員ら

今治市消防本部（南宝来町2）は、救急技術研修会を2月7日・8日同本部で開催し、市内各署から選抜された24人の救急隊員が、現場を想定した緊迫した雰囲気の中、訓練を行いました。

2日間に渡った訓練では、男性がサイクリング中に転倒し負傷したなど、具体的な8つのケースを設定しました。参加した救急隊員らは、薬剤投与や気道確保のための気管挿管などの救命処置や、病院に搬送するまでの的確な処置などを制限時間20分以内で行いました。

一つの訓練が終わると、同本部の指導救命士が参加者全員を集め、活動内容に対し細かなアドバイスや指導を行い、また全員で課題について検討し話し合いました。

「今治市の救急出動件数は高齢化などに伴い、増加の一途をたどっており、救命処置も高度化しています。今後、さらなる救急隊全体の技術向上が不可欠」と同本部の警防課所属の宇高正二さん(50)は話しています。

今治市

携帯に広報紙を配信

アプリ「マチイロ」導入

広報紙がいつでも読める

Android Google Play　iPhone App Store

今治市（別宮町1）は「広報いまばり」をいつでも読むことができるよう、スマートフォン用広報紙配信アプリ「マチイロ」を導入し、話題となっています。

同アプリは、スマートフォンなどでダウンロードすると、発行日に最新号が届きます。利用するには、スマートフォンやタブレット端末に同アプリをダウンロードし、「お住まいの地域」もしくは「気になる地域」で郵便番号などから「愛媛県今治市」を登録します。

ダウンロード方法は文字検索か、QRコードの読み取りを行います。文字検索の場合は、アイフォンはアップストア、アンドロイドはグーグルプレイで「マチイロ」を入力検索します。

【問】☎36-1502（今治市総務調整課／広報広聴室）